

まだまだ暑さは続きそうですが、7・8月は湯遊びを楽しみ、室内でも氷や寒天などひんやりした素材に触れながら、夏ならではの遊びを楽しみました。初めての湯遊びでは、プールに入って少し不安な表情をする姿が見られましたが、保育者と一緒に湯に触れて遊ぶことで少しずつ慣れ、今ではわくわくした表情でプールへ向かおうとする姿が見られるようになりました。自らおもちゃを手に取り、湯をすくって遊んだり、友だちが跳ね上げた湯が顔にかかってもニコニコと笑顔を見せたりしながら、楽しんでいました。少しずつ自我が芽生え始め、お気に入りのおもちゃを友だちに取りられそうになると取り返そうとしたり、食事の際に好きな食材の時は嬉しそうに食べ、苦手な食材は首を振って「いや」と表現したりと、自分の気持ちを表す姿が増えてきました。また、「いないいないばあ！」と友だちや保育者とやりとりを楽しむ姿もあり、少しずつ関わりが育まれてきていると感じています。名前を呼ばれると喜んで手を挙げたり振り向いたりし、自分の名前も分かり始め、日々の生活の中で一人ひとりの成長を感じられる嬉しい瞬間がたくさんあります。

9月から新しいお友だちが1名入園します。今後も、子どもたちの表情や行動に丁寧に寄り添いながら、遊びや関わりの中で成長を見守っていききたいと思います。



トレインカースロープで遊んでいたAくん。車を上手にすべらせると「わぁ〜！」と嬉しそうな声をあげました。その様子を側で見ていたBちゃんは思わずパチパチと拍手。さらに、Bちゃんの隣にいたCちゃんも笑顔でその様子を見ていて、子どもたちの間に喜びが広がっていきような温かい瞬間でした。一人の喜びが周りにも伝わっていく姿に、子ども同士のつながりややりとりの芽生えを感じ、心が和みました。

今年も暑い日が続いていますが、子どもたちは水に触れることを喜び、おもちゃを浮かべたり、ざるからシャワーのように流れる水の様子をじっと見たり、それぞれに湯遊びを楽しむ姿が見られました。また、氷や水風船をタライに浮かべて触り、「つめたいね」「ぷにゅぷにゅ」と感じたことを表現していました。片栗粉遊びでは、“とろとろ”の感触を初めて経験し、不思議そうな表情や困っている様子も見られましたが最後は、子どもたちも全身に片栗粉をつけて楽しんでいました。様々な夏の遊びを経験する中で一人ひとりの成長を感じることができました。

今月は園庭でミニフープや巧技台を使って、体を動かす遊びを思いきり楽しみたいと思います。また、大学の森に散歩に出かけ、自然に触れる中で少しずつやってくる秋を感じ、木の実を拾ったり虫の声を聞いたり、神さまの愛に守られながら、友だちや保育者との関わりを大切にしていきたいと思います。戸外遊びから入室した後は、手洗いの行程（保育者と一緒に土の汚れを流す、石鹸を付けて洗う、手の平の水を切る、ペーパータオルで拭く）を丁寧にやっていきたいと思っています。ご家庭でも一緒に行ってくださいね。室内の制作では、シャツ型の画用紙に好きな色のスタンプを思う存分楽しみ、一人ひとりの表現がすてきなシャツに変身する予定です。楽しみにしててください。



湯遊びの前は毎日体操を楽しんできました。回を重ねるごとに好きな曲が増え、子どもの方からリクエストをしてくれるようになりました。

「アンパンマン！」（アンパンマン体操）

「エビカニ！」（エビカニクス）

「ピカブー！」（ピカピカブー）

「ひよこ！」（ひよこ音頭）

「わーお！」（わーお）とたくさんです。

湯遊びが終わっても、一緒に楽しんでいきたいです。

厳しい暑さが続く夏ですが、子どもたちは水遊びで水の気持ち良さを全身で感じたり、友だちとプールの中で一緒にバタ足をして水しぶきを上げて笑い合ったりと日に日にダイナミックに楽しむ姿が見られました。感触を楽しむ遊びでは、片栗粉のねばねばした感触に驚いたり、寒天を触って「きれいだね」「きもちいいね」と嬉んだりする姿が見られました。また、片栗粉や寒天をカップに入れて、ゼリーやジュースに見立てて「りんごゼリーできたよ。たべる?」「美味しいね」などと友だちとのやりとりを楽しんでいました。

また、みなでお世話をして生長を見守ってきたピーマンやミニトマトは、大きく実りたくさん収穫することができました。給食調理の中で炒め物やスープ、カレーに入れてもらい「りす組さんのピーマンおいしいね!」「トマトはいつてるね」と嬉しそうに食べていました。

今月は、残暑が厳しいことが予想されますが、暑い日には水遊びを楽しみ、過ごしやすくなれば戸外遊びや散歩を再開したいと思います。友だちと手を繋いで歩いたり、虫や草花などの自然に触れたりして、秋の訪れを感じたいと思っています。制作では細長く切った折り紙の端にのりをつけ、丸めていきながらぶどうの実を作り、制作を楽しみたいと思います。

9月から新しいお友だちが1名入園します。これからも様々な経験を通して友だちや保育者とのやりとりを大切に過ごしていきたいと思っています。



色水遊びでは始めは単色のまま、容器に注いで遊んでいた子どもも、色を混ぜ合わせると変化していくことに気づき、「青と赤でぶどうになるよ」「白と黄色でバナナジュースつくったよ」と友だち同士で教え合う姿も見られるようになりました。またいろいろな色を混ぜて、コーヒーに見える絶妙なカフェラテ色やまるで青汁に見える濃い緑色を作る子どももいて様々な色作りを楽しんでいました。これからも子どもたちの様々な発見や驚きに共感して、遊びを楽しんでいきたいと思っています。